

平成24年度 連携環境セミナー



～大阪の昆虫を考える～



大阪府立環境農林水産総合研究所と大阪市立環境科学研究所では、毎年、環境に関するセミナーを開催しています。

今回のテーマは「昆虫」。葉をパラシュートのように利用する蛾の幼虫の話や飛ばないテントウムシが農業の現場で利用されている話、海外だけでなく日本でもあったバッタの大発生の話など、昆虫に関するあっと驚く話やユニークな生態などを研究員がわかりやすく説明します。

地球上でもっとも多く種類数（80万種）が知られる昆虫。自然の中での役割や人間による昆虫の利用など、人間と昆虫との賢いつきあい方を今回のセミナーで考えます。皆様のご参加をお待ちしております。

○日時：平成25年3月13日（水） 14:00～16:30（受付開始13:30）

○場所：大阪府立環境農林水産総合研究所 環境科学センター1階環境情報プラザ研修室
大阪市東成区中道1丁目3-62（裏面地図参照）

○交通：JR大阪環状線又は地下鉄中央線・鶴見緑地線「森ノ宮」駅下車300m

○定員：60名（お申込み先着順）

○参加費：無料

○申込方法：裏面をご覧ください。※申込開始：平成25年2月1日（金）から

◆プログラム◆

1. 身近な昆虫と植物の関係

（大阪市立環境科学研究所 山崎 一夫）

ほとんどの昆虫は植物を利用して生活しています。そして、植物は昆虫に負けないようさまざまな方法で身を守ります。昆虫と植物の関係は、身近で少し注意すれば観察できます。本講演では、樹液をめぐるセミとアリやハナムグリの関係、葉をパラシュートのように使用する蛾の幼虫、紅葉と昆虫の関係などを紹介します。

2. 農業における昆虫利用～飛ばないテントウムシなどを例に～

（大阪府立環境農林水産総合研究所 柴尾 学）

大阪府では大阪産（もん）と呼ばれる多くの農作物が生産されていますが、様々な害虫が発生して被害を及ぼすので、害虫対策は欠かすことができません。そこで今回は、遺伝的に飛ばないテントウムシを利用したアブラムシ防除など、害虫を食べる昆虫、いわゆる天敵昆虫を利用した害虫対策の研究事例や農業現場での利用事例を紹介し、農業における昆虫利用について考えます。

3. 身近な昆虫が害虫に～関西空港におけるトノサマバッタの大発生～

（大阪府立環境農林水産総合研究所 田中 寛）

トノサマバッタは集団で大移動するバッタの一種で、日本での大発生はまれですが、中国や西アフリカなど世界各地でしばしば大発生し、イネ科作物に大きな被害をもたらす大害虫です。関西国際空港では1995年と2007年に数千万個体が発生し、航空機事故が懸念されたため、本種の生態に基づいた最も効率的な防除を実施しました。昆虫を対象とした危機管理の優れた事例として紹介します。

4. 総合討議「虫とのつきあい方を考える」

★連携セミナー申込書★

1 申込方法 本面を利用し、FAXでお申し込みください。

2 申込先

大阪府立環境農林水産総合研究所 経営企画部普及広報課
FAX: 072-956-9790

3 定員 60名

平成25年2月1日(金)からお申込み先着順で受け付けます。
※定員を超えた場合のみ、ご参加いただけないことを連絡します。

(以下ご記入の上、このままFAX:072-956-9790までご送信ください)

○氏名 _____

○団体名 _____

(団体・企業等ご所属の場合ご記入ください)

○電話、FAX番号、メールアドレス(いずれか) _____

(参加申込が定員を超え、ご参加いただけない場合の連絡時に使用します)

★セミナー会場アクセス

(大阪府立環境農林水産総合研究所 環境科学センター)



環境科学センター

〒537-0025 大阪市東成区中道1丁目3-62
TEL 06-6972-5810 / FAX 06-6972-7684

電車: JR環状線・地下鉄中央線・鶴見緑地線「森ノ宮」から
約300m、5番出口から徒歩5分

○連携環境セミナーに関するお問合せ先

- ・地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所
経営企画部普及広報課
TEL 072-979-7070
- ・大阪市立環境科学研究所 調査研究課企画グループ
TEL 06-6771-3043